

## 第2回防府市生涯学習推進計画策定委員会 会議要旨

- 1 開催日時 令和3年8月17日(火)9時30分から11時00分まで
- 2 開催場所 文化福祉会館 3階4号大会議室
- 3 出席委員 16人
- 4 概 要 (発言要旨の文書表現は、簡略化しています)

(以下「防府市生涯学習推進計画策定委員会」を「委員会」として表示する。)

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ

- (3) 議事について

### (委員長)

議題(1)「第1回防府市生涯学習推進計画策定委員会での意見等への対応について」、事務局から説明をお願いします。

### (事務局)

(1)「第1回防府市生涯学習推進計画策定委員会での意見等への対応について」説明。

### (委員長)

対応について、御意見等あればお願いします。

### (A委員)

確認をしたいのだが、計画内のグラフの標記で、令和27年度とあるが、平成27年度の間違いではないか。

### (事務局)

ご指摘ありがとうございます。早速訂正させていただく。

### (B委員)

グラフの話が出たことに関連して話したい。計画(素案)が今回白黒印刷だが、カラーでないと見にくく感じる。

### (事務局)

今回配布している計画(素案)は白黒印刷だが、完成した際にはカラーのものを配布する予定である。また、ホームページにもカラーで掲載させていただく。

### (C委員)

第1章の1の計画策定の趣旨について、「人生100年時代を迎え～」からの一文が唐突に感じる。

(委員長)

それについて他の委員の方も意見はないか。事務局には後でまとめて回答いただきたい。

(D委員)

国ではIoTや超スマート社会という言葉が当たり前のように出ているが、防府市では比較的新しい言葉である。サイバー空間と現実社会が結びつくものとしての認識を生涯学習として取り込んでいくためにも、策定の趣旨において記載が必要だと感じるが、用語解説をするべきではないか。

(委員長)

内容的な補足や用語解説が必要と感じる。

(事務局)

工夫してより分かりやすく記載させていただく。

(B委員)

新しい時代の到来という視点から考えるならば、急速に進む人口減少にどう対応するかが当面の大きな課題なのではないか。計画策定の趣旨において、人口減少の時代における生涯学習の役割の維持や発展をどうしていくかといった記述は欠かせないだろう。

(委員長)

現状の課題を、計画策定の趣旨の部分でもう少しボリュームを膨らませながら、新しい時代へ向けてつなげていくかたちで記載するということか。

(B委員)

はい。

(委員長)

計画1ページ目の計画策定の趣旨について、前半部分を現状の課題と関連させて記載することで、分かりやすくなっていくと思われる。事務局には検討をお願いしたい。

では、その他何かないか。

ないようなので、私の方からも意見を述べたい。

前回の委員会での意見から、SDGsについての記載が計画の5ページに追加されているが、SDGsがどこからきた言葉なのか、例えば「2015年9月の国連総会で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』に記述された2030年までの具体的指針である」といったような記載があるとよいのではないか。

また、計画内のSDGsの関連目標について5つの目標が挙げられているが、この5つの目標は防府市として決められたものなのか確認したい。

(事務局)

特に防府市としてこの目標と決まっているわけではないが、本計画にはこれらの目標が当てはまるのではないかと思ひ、この5つを記載している。

(委員長)

前回SDGsについて述べられた委員が多くおられたが、記載されている5つの関連目標について、意見があれば後ほど伺いたい。

その他何かないか。

それでは、議題（２）の「第３次防府市生涯学習推進計画素案について」だが、こちらについては章ごとに事務局の説明を受けた後、委員の皆様のご意見をいただきたいと思う。

まずは第１章と第２章について、事務局から説明をお願いします。

**（事務局）**

（２）「第３次防府市生涯学習推進計画素案について」、第１章と第２章を説明。

**（委員長）**

第１章と第２章については先ほどから意見が出ているところだが、その他何か意見があればお願いしたい。

**（E委員）**

先ほどから話にあがっているSDGsについて述べたい。外務省のホームページにも掲載されているが、SDGsにはカタカナ表記も必要ではないか。また、委員長も先ほど述べていたが、2030年がゴールである、160のターゲットがある、といったようなSDGsについての説明を加えるとよい。

**（委員長）**

市民の方により分かりやすくご配慮いただきたい。

その他意見があればお願いします。

**（F委員）**

表記についてだが、7ページからの基本目標1から3について、表記を大きくするなどして分かりやすくしてもらいたい。また、14ページのグラフの下の項目説明については、枠内の中央に記載を揃えるなど、そういったところで見やすくしていくとよい。

**（委員長）**

事務局いかがか。

**（事務局）**

まずSDGsについて、カタカナ表記も含め、先ほどからの意見も反映して文章に掲載していく。加えて今言われた基本目標等の表記の大きさやグラフのレイアウトについて、今一度確認し分かりやすく工夫していく。

**（委員長）**

それでは第１章、第２章についてはよろしいか。

では続いて第３章の説明を事務局をお願いします。

**（事務局）**

（２）「第３次防府市生涯学習推進計画素案について」、第３章を説明。

**（委員長）**

基本理念、基本目標についてだが、基本的には前回と変更はないが、それも含めて意見をいただきたい。

**（C委員）**

29ページの施策の体系の中で、スポーツ施設などスポーツに関しての記載が見当たらず

ないのだが。

**(委員長)**

鋭いご指摘ありがとうございます。私としても第4章の話になるが、生涯スポーツに関して薄いのではないか、もう少し盛り込むべきではないかと思っていたところである。

施策体系上はどうか、事務局お願いします。

**(事務局)**

施策の体系では触れていないが、37ページでスポーツ施設や取組について記載している。また、40ページでスポーツ推進委員に関しても記載している。

**(C委員)**

そういうことではなく、29ページの施策の体系のなかで「施策の展開」等の項目にスポーツに関して記載するべきだ。

**(委員長)**

第4章では確かに具体的な取組の記載はあるが、生涯学習の中で生涯スポーツというのは非常に大きな意味を持っている部分でもあるため、施策体系として見えるように表に出てこないか弱いのではないかと、というご指摘か。

**(C委員)**

防府市でスポーツに関しての取組みが盛んに行われているため、発言した。

**(G委員)**

スポーツ推進委員は放課後子ども教室でのニュースポーツの普及や市民体育祭の運営などを行ってきたが、参加者の固定化といった課題があり、幅広い世代が気楽にスポーツに親しむ機会の普及を目指し、ほうふスポーツフェスタというイベントの開催を予定しているところである。本計画における生涯スポーツの体系化については、認知機能や体力の維持など、人生100年時代における課題の解決にもつながると思うので、よいと思う。

**(委員長)**

ありがとうございます。その他何かないか。

人生100年時代において健康は重要であり、大切なものである。前回の計画には確かに記載はなかったようだが、時代が変化していることを踏まえて、新たに体系に記載を加えるなど、検討して欲しい。

**(B委員)**

基本理念における「自分づくり 人づくり 防府づくり」という文言について、これは平成30年12月の中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」における重要なキーワードである「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を受けたものであるならば、基本理念の「自分づくり」は人づくりと解釈され、「人づくり」はつながりづくりにあたる部分であり、きっかけづくりや場づくりといった表現の方がふさわしいのではないかと。

**(F委員)**

答申と施策の体系は、内容的に整合性があるように思う。

**(B委員)**

同じ意味の言葉が違った言葉で表現されていくことで、文章が難解になってしまう。計画の施策の体系において、基本理念から基本目標、施策へとどう繋がっていくのか、考え方が示されていないといけない。

**(C委員)**

様々な意見が出たが、今までの歩みもあるので、事務局の方でそれに合うようにうまく盛り込んでいてもらいたい。

**(委員長)**

ありがとうございました。

今回のご指摘やご意見は、今までの防府市の歩みもあるため、事務局と検討し再度提案させていただくという形でよろしいか。

では次に第4章について、事務局にお願いする。

**(事務局)**

(2)「第3次防府市生涯学習推進計画素案について」、第4章を説明。

**(C委員)**

33ページの施策の展開2の⑤、主な取り組みの3つめ「市民文化祭等の文化・芸術活動の成果を発表する場の提供」について、4月1日の市広報にも掲載しているように、市民の自主的な文化活動の発表・交流の場として、アスピラートの1階に防府市民ギャラリーを作ることが決定し、来年度から運用を開始する予定であり、もう少し積極的な表現である方がよいと思う。例えば「市民文化祭等の文化・芸術活動の成果を発表する場の提供の拡充」といったものはどうか。

それから、次のページの施策3、施策の展開1の内容について、「文化福社会館の解体・撤去に伴い」という表現ではなく、機能移転について前向きな表現にしてもらいたい。

**(H委員)**

本計画は外国籍の方や障害のある方の親など、そういった方々にとってもやさしい計画であってほしいと思う。

**(D委員)**

34ページに、タブレット端末についての記載があるが、どう活用し、またどのような点があるのか、使用例が具体的に分かる記載がもう少しあればよいと思う。好事例があるとさらによい。

**(I委員)**

37ページの施策の展開5の、その他の生涯学習関連施設の有効活用における主な取組の「小・中学校体育施設等の地域開放の推進」とあるが、これは利用者が固定化しており、新たに利用を希望しても難しいところがある

21ページと22ページの「(3)生涯学習に特に取り組まなかった理由について」は、内容的に12ページの「(1)生涯学習への取組状況について」の後に差し込んだ方が、関連性も高く、よいのではないか。

また、何が生涯学習で何が生涯学習でないのかを明確に示すことで意識調査アンケートの結果や生涯学習への参加実績もあがるとされる。

**(委員長)**

意識調査アンケートの結果からも感じるが、市民の方にとって生涯学習とは公民館で高齢者が行うものだという認識があるのではないかと。自己実現につながる積極的な学びは全て生涯学習とされるべきだが、そういった考え方が市民の方に広がっていないように思う。今後も周知が必要である。

**(J委員)**

今言われたことに関連して、生涯学習の概念や市民の方の生涯学習に対する意識について、「生きることは学ぶこと」という言葉があるが、「生涯学習に関する意識調査」において、生涯学習に取り組んでいないと回答された方についても生活をしていたら何か学ぶことがあると思う。そういった方に生涯学習というものを自覚していただくためにも、生涯学習のきっかけを提供するのが大切ではないかと思う。

**(K委員)**

先ほどH委員が、障害のある子どもの学習の機会について触れていたが、この5年10年で、グレーゾーン（発達障害）の子どもが増えてきている状況である。そういった子どもにも早い段階から支援ができればよいが、人材が不足しており、義務教育の段階より前に支援が行える施設の拡充について切に望んでいる。

**(L委員)**

防府みらい塾について、高校で地域活動を行う際にほうふみらい塾を経験した生徒が中心的存在となっており重宝している。このように地域に目を向けるような取組を続けてほしい。

32ページのリカレント教育についても、学校と協力していければと思う。高校や大学を卒業したら学びは終わりと考えている生徒も多いが、人生の先輩が後輩に学びの姿勢を見せるという形で、導いていただけるとありがたい。

**(M委員)**

45ページにはコミュニティスクールについての記載があるが、今の子どもたちにとってはコミュニティスクールが当たり前の時代となっており、地域とともに学ぶ子どもたちが育っている。社会の変化に伴い、学校教育も変化しており、タブレット端末を使用して社会や地域とつながろうという動きが出ている。また、中学校では日曜日が部活動も行わない休養日となっており、休養日をどう過ごすか、どのように社会とつながるか、といった課題も出ている。

生涯学習が学校教育とつながり、生きがいをもって学んでいる素敵な大人の姿を子どもたちに見せることで、子どもたちに夢を持ってもらいたいと思う。

**(A委員)**

30ページにある「ICT」という文言について、他のページでは、括弧書きで「情報通信技術」という文言が後に標記されているが、標記を統一してはどうか。また、37ページ

に「ソルトアリーナ防府」の記載があるが、今は「麒麟レモンスタジアム」という愛称であり、愛称を併せて標記すべきではないか。

**(委員長)**

32ページのあたりになると思うが、企業・事業所の生涯学習についての記載が見当たらないように思う。今は企業・事業所も積極的に学びに関わっているため、その応援のためにも記載を加えて欲しい。

では続いて第5章及び議題3の目標指標の設定について、に入りたいと思う。事務局にお願いする。

**(事務局)**

(3)「目標指標の設定について」、第5章を説明。

**(委員長)**

目標指標の設定について説明いただいたが、これについて、何か意見がないか。

**(E委員)**

意見ではなく感想を述べさせてもらうが、49ページの2計画の推進にあたってについて、1の計画の推進体制や2の計画の周知に関して、分かりやすく前向きな表現で大変良いと思う。また、3の計画の進行管理についても、市のホームページに資料等の掲載があり、こういった進行を続けていただきたい。

**(委員長)**

それでは今日の会議の全体を通して何か言い残したことがあればお願いしたい。

**(H委員)**

用語解説について、防府市民の方が読みやすいように、分かりやすくしていただきたい。

**(事務局)**

なるべく分かりやすいように用語解説等を充実させていきたい。

**(委員長)**

ほかに何かあるか。

それでは委員会を終わりたいと思う。事務局の方から今後について説明をお願いする。

(4) 事務局より次回の開催及び今後のスケジュールについて案内。

(5) 閉会